



母 樂 唱 歌

広島大学図書

0130458328



文庫

01304

58328

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

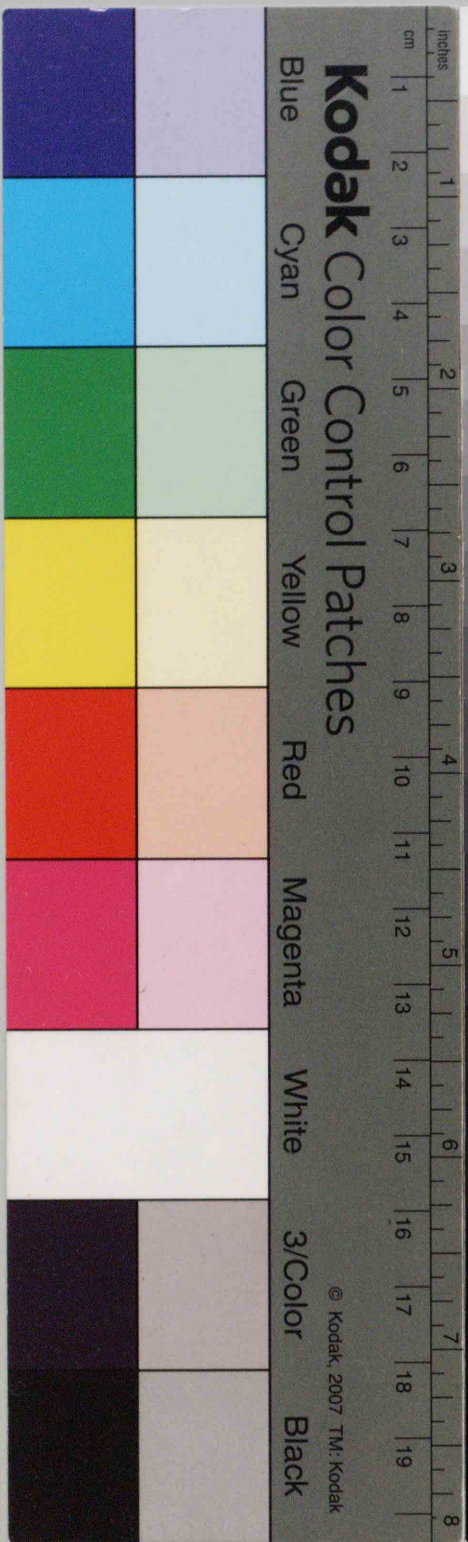


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



43326

教科書文庫

4

760

40-1909

01304
58328

中央圖書館

教科書文庫
4
760
40-1909
0130458328

800

東京音樂學校編纂

中等唱歌

合資
會社
共益
商社
樂器
店
發行

広島大学図書

0130458328 8



例 言

本書は師範學校中學校高等女學校の教科書用に充てんが爲に編纂せるものなり。

本書の曲譜に、歐洲のもの多くして邦人の手になれるもの少きは聊か主客顛倒の嫌あれども、今日の時勢上止むを得ざるところなり。

本書は重音唱歌を缺き數量も亦十分ならざれども、目下整理中に屬するものも少からざれば遠からず増補すべし。

歌詞と曲譜との調和は、唱歌の第一義なるが故に、この點には頗る注意を加へたれども、なほ至らざるところ多からん事を恐る。識者幸に示教を吝むこと勿れ。

本書歌曲の製作は當代知名の諸家に委囑し、本校雇外國教師アウグスト、ユンケル。ハインリッヒ、ウエルクマイスタル二氏の助力を得、本校教授鳥居忱、武島又次郎、富尾木知佳、島崎赤太郎、吉丸一昌、乙骨三郎、助教授楠美恩三郎、田村虎藏、岡野貞一、南能衛竝に囑託講師文部省視學官吉岡郷甫の諸氏を委員として選定したるものなり。

明治四十二年五月

東京音楽學校

目次

	頁數		頁數
天皇の御稜威	2	綠 蔭	38
海樓眺望	4	笠 置 山	40
夕 暮	6	湖 上 の 月	44
吉 野 山	8	亡友の寫眞	46
今日も暮れぬ	12	護 良 親 王	48
醍醐の花見	14	月 下 懷 郷	50
夕 の 鐘	18	樺 太	52
手 函 の 繪	20	演 習	56
胡 蝶	22	吉 田 松 陰	58
田 植	24	里 祭	60
ターターロー	26	墓 詣	62
夏 休	28	駟 足	64
虹	30	氷 滑	66
孔 明	32	世 の 態	68
深 林 逍 遙	34	千代田の宮	72

天皇の御稜威

納所辨次郎作曲

mf ♩ = 88.

5 4 3 1 2 — 6 5 2 3 4 6 5 — 3

一 あ ふげ ば た か き た か み く ら —
二 セ カイ チ テ ラ ス ヒ ノ ミ ハ タ —

5 — 1 7 6 2 1 6 f 5 — 3 3 3 1

な び く み は た の み ひ か り は
ア フ ガ マ ク ニ ハ ナ カ ル ラ ン

mf 3. 3 3 3 4. 5 5 — 6. 6 7 6 2 — 5

と つ く に か けて か が や き ぬ —
キ ャ ウ — ダ イ コ ク チ シ ロ シ メ ス —

(注意) 仰ぐはオーケと歌はすアオケと歌ふべし以下これに倣へ

5 — 1 7 6 2 1 6 f 5 — 3 3 3 1

き み が み い つ そ か し こ か る
キ ミ ガ ミ イ ツ ソ タ ヲ ト カ ル

一、 仰ぐば高き高御座
なびく御旗の御光は

二、 外つ國かけて輝きぬ
君が稜威ぞ畏かる

三、 世界を照す日の御旗
あふがぬ國はなかるらん
強大國をしろしめす
君が稜威ぞたふとかる

天皇の御稜威

木村正辭作歌

海樓眺望

♩=108.

Verdi.

一 あ さ ひ の ほる う み の お も に ひ か り
 二 メ ナ ノ カ ギ リ ヒ ト ツ イ ロ ナ ミ ツ ト き
 三 う ら わ か げ て そ そ ぐ あ め に い そ き

お び て と ぶ や か も め ひ と は つ ど ふ
 ソ ラ ト ヲ カ ッ シ ラ ホ ナ ミ ハ チ ド ル
 か へ る あ ま の な ぶ れ お き の か ぜ に

は ま の あ び き え も の い は ふ そ の こ 原
 イ ハ ノ ア タ リ マ タ マ ミ ダ レ ヲ キ チ ル
 く も は は れ て く ま も な し や つ き か げ

海樓眺望

小野竹三作歌

一、 朝日のほる海の面に
 光帯びて飛ぶや鷗

二、 眼路の限り一つ色を
 獲物祝ふ其のこゑ

三、 浪は躍る巖のあたり
 眞玉みだれ雪ちる

浦回かけて注ぐ雨に
 急ぎ歸る海人の小舟

沖の風に雲は晴れて
 くまもなしや月影

夕 暮

Naegeli.

♩=80.

p

一 さ り 一 ご ん よ そ に た ぐ ひ も あ ら 一 す
 二 ホ ド ナ ク イ ロ ハ た ナ シ ク サ メ テ
 三 か く て ぞ よ る は あ ヲ み も ヲ ー る ー く
 四 カ ナ シ ミ ナ ヤ ミ ミ ナ ソ ノ カ ゲ ニ

mf *p*

て ん ち な い ろ ど ー リ ン お ち ヲ く ン 一 ひ
 ク モ ミ ツ ガ ネ ノ ー ネ オ オ モ ロ ツ ン ト ホ 一 キ
 か ぐ ろ る き と ば リ ー な オ ひ き ヲ つ つ ト キ 一 タ
 イ ツ シ カ カ ク レ ー テ ネ ム リ ニ イ リ

夕

暮

土井林吉作歌

一、 壯嚴餘所に比もあらず

天地を彩り落ち行く夕日

二、 程なく色は空しく褪めて

雲水鐘の音おもひぞ遠き

三、 斯くてぞ夜は歩も緩く

かぐるき帷を曳きつゝ來たる

四、 悲み悩みみな其の蔭に

いつしか隠れて眠に入りぬ

吉野山

小山作之助作曲

♩=104.

mf

一ふもともみねもさきうづむ
ニチモトノハナチハキーステテ

はなのしらくもたちなびくよしのの
シーロキアラシノフキースワカヨシノノ

p

やまのあけぼのなただうるはしと
ヤマノユウグアレチタダクチチャーシト

lento.

p

みるなかれここにてもくもゐの
ミルナカレンカヘラジトカーネテ

lento.

さくらさきにけりただかりそめの
サモヘバアツサユミナキカズニール

dim poco rit.

a tempo.

mf

やどとおもふにみはしのさくらいたづら
ナナツトドムルナハテノカセノハダシク

dim poco rit.

a tempo.

mf

にむかしにかへるはるまじし
テワカキノクースノチレタリシ

なみだのいにしへおもひくめよ
ナミダノイニシヘオモヒクメヨ

なみだのいにしへおもひくめよ
ナミダノイニシヘオモヒクメヨ

吉野山

吉岡郷甫作歌

一、

麓も峯も咲きうづむ

花の白雲立ちなびく

吉野の山の曙を

唯うるはしと見る勿れ

「こゝにても雲井のさくら咲きにけり

唯かりそめの宿とおもふに」

御階のさくら徒に

昔に歸る春待ちし

涙のいにしへ思ひ酌めよ

二、

千本の花を掃き捨て、

白き嵐の吹きさわぐ

吉野の山の夕暮を

唯くちをしと見る勿れ

「かへらじとかねて思へばあづさゆみ

なき数に入る名をぞ止むる」

細手の風のはけしくて

若木の楠の折れたりし

涙のいにしへ思ひ酌めよ

今日も暮れぬ

Spontini.

♩=100.

p *mf*

一くものい るうーすー れ てやまの は はきえ
ニホシノカ ゲホーノー メ キクサノ ハ ニツエ

p *mp*

ゆきとりのこ ゑしーづー まる たの しー
ミチテラノカ ネナーリーヤム シゾ カー

mf

く たーの —しーく けーの ひもくれーぬ さらに
ニ シーヅ —カーニ ケッーノ ヨハキタール サラニ

f

や またーまー し ふみにーよきーよるーな
ヤ イターマー シ ノゾミーアルーアスーナ

今日も暮れぬ

尾上八郎作歌

一、雲の色うすれて山の端は消えゆき

鳥の聲しづまる

楽しく楽しく今日の日も暮れぬ

更には待たまし書によき夜を

二、星の影ほのめき草の葉に露みち

寺の鐘鳴りやむ

静かに静かに今日の夜は來たる

更にや待たまし望ある明日を

醍醐の花見

田村虎藏作曲

♩=116.

mf

一 二 三
か さ と リ ヤ マ ニ
サ あ ら し を キ ソ チ
あ ら し を キ ソ チ

は る た け て
も し ト タ シ テ
し た か シ ゲ テ
に

mf

8va loco

f

だ い ご は は な の
ミ ツ つ だ る ス カ ナ リ
む つ つ る る は は な の
の の の の の の の の

ま い 一 つ さ か リ
い ナ ク ビ ャ ヲ ナ ア ミ
の の の の の の の の

f

mf

と よ と み た い か ひ で よ し こ 一 ぶ
ニ シ キ チ カ イ ズ ガ ル ヒ ア シ ノ ソ テ ア ロ
え シ り ぐ わ を カ ミ ザ タ ル ス ミ ノ の ソ ミ テ ヲ
が

mf

ゆ ー は か が や く う み の う ち と
カ リ ナ ア ラ ソ ク み ノ う ち と
ー し ゃ を く ら ぶ る や 共 の こ す 風

f

け い ち さ ん れ ん は る や よ ひ
ナ ル ヤ と ツ こ ろ に ト ッ ト ッ ト
ヤ マ と ご こ ろ に ト ッ ト ッ ト

け ー の こ の ひ を せ ん き ん と
ミ ネ ノ マ ツ カ を オ ト ソ ム し テ
た ぐ ひ ま れ な る こ の む し へ テ
ろ

きよた らきか なナキ つーくーせーらーるスは さマと くヒつ がソに リテの
 ひエは とへて めルま なカで うデに ばふんほー はハは なナな のノの えエえ んん
 あアあ なナな なオオ もモも ろロろ やヤや ニニニ ちチち よヨよ やヤや

醍醐の花見

池邊義象作歌

一、笠取山に春園けて

醍醐は花の眞盛

豊臣太閤秀吉公

武勇は輝く海の内外

慶長三年春やよひ

今日のこの日を千金と

きらを盡せる櫻狩

人目を奪ふ花の宴

あなおもしろやこゝちよや

二、三寶院を本として

見わたす限花屏風

錦を飾る武將の袖

光を争ふ國の稜威

鳴るや鼓の婆々と

峯の松風音添へて

雪を廻らす舞の袖

酔へるか天も花の宴

あなおもしろやこゝちよや

三、嵐を餘所の下蔭に

むつるゝ花の軍君

榮華をみたすみ池の水

豪奢を較ぶる山の梢

倭心に照りあへる

比 稀なるこの薙

高き薫は外國の

果まで匂ふ花の宴

あなおもしろやこゝちよや

夕の鐘

Mendelssohn.

♩ = 60.

一 ふ る さ と い そ ぐ く も あ の か リ
 二 ム ラ サ メ ハ レ テ シ ラ ホ ノ カ ギ
 三 な の へ の し か の と も よ ぶ こ ん ぬ
 四 コ ノ ハ ノ シ グ レ フ リ シ グ イ ホ

ば な よ リ い づ る ゆ べ の
 ソ ナ レ ノ マ ツ ニ ユ ッ べ の
 も ナ レ ノ マ ツ ニ ユ ッ べ の
 キ ナ レ ノ マ ツ ニ ユ ッ べ の

か ー れ
 カ ー ね
 カ ー ね
 カ ー ね

夕の鐘

小野竹三作歌

一、 故郷いそぐ雲居の雁
 花より出づる夕の鐘

二、 村雨霽れて白帆の影
 磯馴の松に夕の鐘

三、 尾上の鹿の友呼ぶ聲
 もみぢ葉誘ふ夕の鐘

四、 木の葉の時雨降りしく庵
 雪けのそらに夕の鐘

手 函 の 繪

目賀田萬世吉作曲

♩=88.

mp

一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四

も 一 二 三 四
 は 一 二 三 四
 ら 一 二 三 四
 わ 一 二 三 四
 の 一 二 三 四
 か 一 二 三 四
 を 一 二 三 四
 ま 一 二 三 四
 一 二 三 四

て 二 三 四
 み 一 二 三 四
 つ 一 二 三 四
 て 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四

て 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四
 一 二 三 四

mf

え 一 二 三 四
 い 一 二 三 四
 め 一 二 三 四
 こ 一 二 三 四
 と 一 二 三 四
 し 一 二 三 四
 も 一 二 三 四
 も 一 二 三 四
 え 一 二 三 四
 い 一 二 三 四
 で 一 二 三 四
 て 一 二 三 四
 つ 一 二 三 四
 み 一 二 三 四
 て 一 二 三 四

mf

と 一 二 三 四
 ら 一 二 三 四
 れ 一 二 三 四
 し 一 二 三 四
 こ 一 二 三 四
 ゑ 一 二 三 四
 の 一 二 三 四
 う 一 二 三 四
 さ 一 二 三 四
 わ 一 二 三 四
 す 一 二 三 四
 れ 一 二 三 四
 の 一 二 三 四
 て 一 二 三 四

p

と 一 二 三 四
 ら 一 二 三 四
 れ 一 二 三 四
 し 一 二 三 四
 こ 一 二 三 四
 ゑ 一 二 三 四
 の 一 二 三 四
 う 一 二 三 四
 さ 一 二 三 四
 わ 一 二 三 四
 す 一 二 三 四
 れ 一 二 三 四
 の 一 二 三 四
 て 一 二 三 四

手 函 の 繪

幸 田 成 行 作 歌

- 一、山岡の蕨は 萌え出でぬ今年も
 萌え出で、摘みて採られし 去年の憂さ忘れて
- 二、山陰の雉子は 鳴き立ちぬ今年も
 鳴き立ちて人に撃たれし 去年の憂さ忘れて
- 三、早蕨もきゝすも 去年の憂さ忘れて
 わが世経るすがたのどけき うらゝかの春の日
- 四、春山の蕨よ 山陰のきゝすよ
 汝たちの姿ゆかしみ 畫かうよ手函に

胡蝶

Volkslied.

♩.=80.

一はるひか げうらうら とのどけきひより
 二ハナカタ ミテニモチ テツレダツラハ
 なのはなの いろはえ てききたる あたり
 カニニホツ ツーホスミ レツミナル トーコロ

あれよこてふ ひらひら あれよこてふ とぶよ ひらひら
 アレヨコテッ ヒーラヒラ アレヨコテッ トーアヨ ヒーラヒラ
 ひらひら とぶよ
 ヒーラヒラ トーアヨ

胡蝶

鳥居 枕作歌

一、春日影うらうらと のどけき日和

菜の花の色はえて咲きたるあたり

あれよ胡蝶 ひらひら

あれよ胡蝶 飛ぶよ

ひらひらひらひら 飛ぶよ

二、花筐手に持ちて連れだつ童

香に匂ふつば菫摘み居るところ

あれよ胡蝶 ひらひら

あれよ胡蝶 飛ぶよ

ひらひらひらひら 飛ぶよ

田 植

♩ = 108.

Righini.

p *mf* *f*

一 そ の う し ひ け よ や そ の ふ ご お ろ せ ち ち
 二 ミ ツ ホ ノ ミ ク ニ ノ サ カ ヲ ユ ル タ ネ ト ミ オ
 三 あ め か ゼ た ひ ら に ち ま ち だ な べ て て み の
 四 メ デ タ キ コ ノ ヒ ヨ ヲ ハ イ ハ へ ち

mf *p*

は は あ に お と さ な へ や と ら ん た ま な へ と ら ん
 ヤ ノ タ マ ヒ シ ヲ ヲ ツ カ イ サ ナ へ ン イ マ ハ ヤ ト ラ ン
 れ よ ニ の な へ や つ か の し な ひ い ま よ リ ま た ン
 ハ ハ ア ニ オ ト イ ザ イ ザ ト モ ニ ウ タ ヒ テ ウ エ ン

田 植

池邊義象作歌

- 一、 其の牛牽けよや其の畚卸せ
 父母あにおと早苗や採らん
 玉なへ採らん
- 二、 瑞穂のみ國のさかゆる種と
 み親の賜ひしたふとき早苗
 今はや採らん
- 三、 雨風たひらに千町田なべて
 實れよ此の苗八束のしなひ
 今より待たん
- 四、 めでたき是の日よ謠へや祝へ
 父母あにおといざいざ共に
 謠ひて植ゑん

チーターロー

山田源一郎作曲

♩=100.

f > *f* >

一二三 うきお ぶらひ まめく くる せう ーんき えん クワへ ととた びドふ ちろる くる だバゆ ーん ーし ばん ーゼん へん おお

meno mosso. mp

ひな とすび しまけ くすし だなむ いだか ちんし へちに けわか ーつて ーつて チチチ タタタ ロロロ はへの

meno mosso. mp

f a tempo.

かすい ばシマ ねホは のの のナヤ やがぶ うん めい いヒつ かなき にりぬ ああ ああ フフ

a tempo. f

mf *f* *p dim e rit.*

ラン スス うん めい いヒつ かなき にりぬ ああ ああ フフ ララ ンン スス

チーターロー

土井林吉作歌

一、 渦巻く硝煙 飛び散る弾雨 萬兵齊しく大地を蹴って

二、 閃めく劍光 とろく馬蹄 大軍忽ちなだれを打って

三、 追ひ来る敵兵 運命非なりあ、佛蘭西 全歐靡けし昔に替へて

運命盡きぬあ、佛蘭西

チーターローは屍の小山

運命いかにあ、佛蘭西

チーターローは血汐の流

夏 休

Vollkslied.

♩=112.

Musical score for '夏休' (Summer Rest). It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The score is in G major and common time (C). The tempo is marked as ♩=112. The piece is a 'Vollkslied' (folk song). The lyrics are written in Japanese and are repeated four times, corresponding to the four systems of music. The piano part features a simple, rhythmic accompaniment with a bass line that often moves in parallel motion with the vocal line.

夏 休

吉丸一昌作歌

一、指折るほどにぞ休はなりて
 そゝろに心のあこがれ行くや
 風そよそよ そよ そよ
 水さらさら さらさら
 朝山辿りて我が越え来れば
 見さくる山々夢より淡く
 露はらはらはら はら
 雲ゆらゆら ゆら ゆら
 釣籠片手に岸邊に立てば
 さとわの燈火木の間にあをく
 月きらきら きらきら
 魚ひらひら ひらひら
 間近になりたるこの夏休
 斯くてぞ暮らさん樂しの休
 疾く来よ 来よ 来よ
 疾く来よ 来よ 来よ
 疾く来よ 来よ 来よ
 疾く来よ 来よ 来よ
 来よやこの夏休
 来よやこの夏休
 来よやこの夏休
 来よやこの夏休

虹

Naegeli.

♩=84.

P

一 あ め は れ た る づ ー ぞ ら に
二 ク モ ノ ヲ ヲ ヲ ナ ニ ヲ キ ハ シ ノ
三 め も あ ヲ ヤ ル ナ ヲ ナ イ ゾ ゾ ト
四 ヲ チ ミ ヤ マ ナ ニ ヲ メ ノ ゾ ゾ ト

mf

い つ し か ち ゃ う べ る に ー じ よ
タ ク シ ヲ カ ニ コ ラ セ ル ニ ー シ ヨ
シ ヲ カ ニ コ ラ セ ル ニ ー シ ヨ
シ ヲ カ ニ コ ラ セ ル ニ ー シ ヨ

虹

小林愛雄作歌

一、雨霽れたる夕空に

いつしか浮べる虹よ

二、雲のうへに浮橋の

巧を凝らせる虹よ

三、目もあやなる七色の

奇しくもたふとき光

四、打ち見る間に夢の如

まづかに消え行く光

孔明

内田 象太郎 作曲

♩=96.

mf

一 二 三
 さ さん こん の め ぐ み に さ さ げ し い の
 さ さん こん の め ぐ み に さ さ げ し い の
 さ さん こん の め ぐ み に さ さ げ し い の

f

ち し さん き ぼ ー の か す は た い ー か
 り り ー さん ノ ケ イ リ ン の ア フ が た ン タ ー か
 る り ー さん ノ ケ イ リ ン の ア フ が た ン タ ー か

p *mf* *rit.*

に お す め の な が れ か る る と ー
 キ ヲ リ ヨ ー ノ チ カ ハ ヲ ツ ル ト ー
 キ キ ー ン の ジ ン は ヲ ヲ め ナ レ ー

a tempo. *mf* *rit.*

も ひゃ く せ い な ー が く あ と な ぞ し た ー
 も ひゃ く せ い な ー が く あ と な ぞ し た ー
 も ひゃ く せ い な ー が く あ と な ぞ し た ー

a tempo. *mf* *rit.*

孔明

一、 三顧のめぐみに捧けし命
 神算鬼謀の数はたいかに
 渭水の流かるゝとも
 百世永く跡をぞ慕ふ

二、 三代此の方君たゞひとり
 王佐の経綸あふぐぞ高き
 臥龍の岡は崩るとも

三、 三國舉りて比を見ざる
 綸巾羽扇のすがたぞ清き
 祈山の陣は夢なれど
 萬古に高く名は猶匂ふ

土井林吉作歌

深林逍遙

Marschner.

♩.=84.

f

一 ひ る な ほ を ぐ ら き き ぎ の し た か げ ち り し く お
二 イ ケ ト セ フ リ ニ シ フ ト キ コ イ キ ノ コ ズ エ ハ

mf

ち ば に み ち も わ か ね ふ か き は や し な ひ
ル カ ニ ク モ ニ ソ ビ エ ネ ニ ハ ム ス コ ケ イ

p

と り た ど れ ば と り だ に き な か ね あ た り の し
ロ ズ サ ビ ヌ ル コ コ ソ ヲ キ ヨ ノ ホ カ ソ ト オ

f *mf*

づ け さ と ほ き た に ま お つ る み づ の
モ ニ ヲ ツ ヤ イ ツ コ モ リ ノ カ ナ タ

f *mf*

た ぎ つ お と か ひ び き か す か
ソ マ ガ ラ ザ カ チ ノ ノ ヒ ビ キ

mp *pp*

さ ら さ ら さ ら さ ら さ ら さ ら
チャウ - チャウ - チャウ - チャウ - チャウ - チャウ

深林道遙

乙骨三郎作歌

一、 晝ひるなほ小せう闇くらき木き々の下した陰かげ

散ちりしく落おち葉はに道みちもわかぬ

深ふかき林はやしをひとりたどれば

鳥とりだに來き鳴なかぬあたりの静しずけさ

遠とほき谷たに間ま落おつる水みづの

たぎつ音ねか響ひびかすか

さらさら
さらさら
さらさら

二、 幾いく年ねん舊ふるりにし太おほき老おい木きの

梢こずえははるかに雲くもにそびえ

根ねにはむす苔こひ色いろぞさびたる

此こ處こそ浮うき世よの外ほかぞとおもふに

打うちつや何なん處ところ森もりの彼かなた方た

杣そまが業わざか斧おののひゞき

ちやうちやう
ちやうちやう
ちやうちやう

緑 蔭

Becker.

♩ = 100.

P

一 みどりばしげるきしーべ くさ のーしとれーしきたり を
 二 セ キレイイハマト ビーテ ミヅ ハーセカレテシブキ ス
 三 ひ ははやまにい リーテ くも はーこがねーながし め

cresc.

が はひく くさ さやく いざ やーここにーきたれと
 ド リソラ ニツ ラナリ キギ ニーウタッーヒガ ラシ
 と めなへ しこ のみよ げに やーここにーやす まん

cresc.

緑

蔭

三宅龍子作歌

一、緑葉しける岸邊

草の褥しきたり

小川低くさゝやく

いざやここに來たれと

二、鶴 鶴 岩間飛びて

水は堰かれてしぶきす

みどり空に連なり

木々に唄ふひぐらし

三、日は早や山に入りて

雲は黄金ながしぬ

勤務終へし此の身よ

けにや此處に休まん

笠置山

南能衛作曲

♩=104.

p *mp* *p* *f* *p* *f*

一二三四五
ふたたなや
まみさか
くほにへせ
ほさたさな
のギのカミ
ほりみダカ
にニしツゼ
あしあしあ
めちかホラ
かサさずび
ぜへかノに
はらんしら
くミこヤあ
はカがホビ
りズーデて

ふかはカウ
セシカセク
げコるチへ
どシとモも
ふがしイわ
せいらトか
げやすハた
どミてズす
いミおアは
まユちメて
はメツチし
やノきモも
すコたキあ
ベコまラら
なチへハせ
しニばズす
キテおミみ
のニもフそ

まチひえら
ろナもハは
どトたいく
のりがソも
はテーグリ
みかるコひ
るチくシか
みユはマげ
るきらノも
やマヤオみ
けマかキえ
ぬ一たニす
たユしオの
のクぐマほ

p *mf* *p* *mf* *p* *mf* *mp* *p rit.*

みへれしら
しモもハん
キクもナつ
どラるリキ
はキヤヌの
みタイイカ
なニたタげ
みカヤヤだ
なゲのノに
ヤコおミし
れカマトら
ぬゲしノす
てタぬゲか
きノるンさ
はムるコギ
なアみーや
にタそニぶ
もリでネれ
ーノー
ーニ
ーニ

のハばンて
かチひクふ
まハるレた
くヤとユと
らノキクセ
ぞアアハみ
くミラルと
とりすせ
あアアア
あアアア
かカラアか
さサーマリ
ぎギのギ
ーニ
ーニ
ーニ
まマしノの
おイのカミ
ーマキサだ

ぎハハラる
みヤつる
おオあウみ
はチめラよ
すヌにミヤ
てホカカお
だ一みコモ
てギダツへ
もミもモば
ツイそアう
キツひハた
ぬコねて
コカあヨあ
のシあノあ
とコカサか
のシなマな
ヤヤしヤし

笠置山

池邊義象作歌

一、吹き捲く炎に雨風加はり

木の丸殿は見る見る焼けぬ

頼みし木戸はみなみなやれぬ

敵はなにものかまくら賊徒

嗚呼笠置山大君おはす

てだてもつきぬこの殿や

二、立蓋ふさぎりに道さへ見わかす

かしこし大君みゆめのこゝちに

手に手を取りて落ち行き給ふ

ゆくへもくらすき谷かけ木かけ

たのむあたりは千早のあたり

あゝ笠置山いまはやおちぬ

おほぎみいづこかしこしや

三、頼みにたのみし赤阪金剛

はかると知らずておちつきたまへば

思ひもたがふ六波羅館

ぬるゝ御袖はひる時あらず

あゝ半の御所軒うつ雨に

涙もそひぬあゝかなし

四、波さへさかだつ潮路の八潮路

かぜをもちとはす雨をもさらはず

みふねはいそごじまの隠岐に

おましはなりぬ板屋のみとの

元弘二年くれゆくはるべ

あゝ、蟹衣の重なるうらみ

かこつもあはれ世のさまや

五、山かぜ波かぜあらびにあらびて

ゆくへもわかたずはてしもあらせず

みそらはくもり日かけも見えず

上らむ月のかけだに知らず

笠置破れて二年三年

あゝかりごものみだるゝみ世や

おもへばうたてあゝかなし

湖上の月

Rossini.

♩=69.

mf cresc. *decresc.*

一 つきか げ さやけく かぜも ふかぬあきの よーは
 ニ サザナ ミ アヤオリ ウチモ ナドルミツノ オーモ

decresc.

ますみの かがみか ちりも おかぬみづうみ
 カツラノ サエダカ サチニ カカルミヅクサ

piu mosso. *decresc.*

いざ わが とーもな ぶーれい だーせ
 イザ ヲガ トーモタ カークリ ターヘ

piu mosso. *f* *decresc.*

decresc.

いざ わが とーも とも づーな と けや
 イザ ヲガ トーモ フナ パーダ ウ テヤ

湖上の月

吉岡郷甫作歌

一、 月影さやけく風も吹かぬ秋の夜半

眞澄の鏡か塵もおかぬ湖

いざ吾が友小舟出せ

いざ吾が友纜とけや

二、 小波あや織り魚もをどる水のおも

桂のさ枝か棹にかゝる水草

いざ吾が友高く歌へ

いざ吾が友舷うてや

亡友の寫眞

♩=92.

Zelter.

p

一 た ま し ひ こ も る こ の う つ し 友
 二 イ ャ ー ジ ャ ャ ヤ ド ル コ ノ マ ナ ザ シ
 三 さ い さ さ ー う か ぶ こ の く ち つ シ
 四 ア サ ユ ー ア フ グ ノ ヲ ツ シ

mf

し れ る か き み が ま た な き と も
 キ ャ ャ ル カ ト ハ ニ ヒ ヒ ナ ラ ヌ ホ シ
 と ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ
 マ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ

亡友の寫眞

吉岡郷甫作歌

- 一、 靈魂こもるこのうつしゑ
 知れるか君がまたなき友
- 二、 友情やどるこのまなざし
 消ゆるかとはに光らぬ星
- 三、 才藻うかぶこのくちつき
 とづるかとはに開かぬ花
- 四、 朝夕あふぐこのうつしゑ
 まもれや君が友なき友

護 良 親 王

♩=72.

Silcher.

1 2 3 2 1 1 3 5 3 5 4 3

一 か ま く ら や ま の く も な ほ ら ひ あ
二 下 ツ が ハ ヨ シ ノ ナ ラ ヤ ク マ ノ イ
三 は る る と み え し ヤ ま の く も は ふ

3 3 5 5 4 4 cresc. 7 7 1 2 6

ま つ ひ あ ふ ぐ と き は い - ま - と お
ッ サ ノ カ ズ ハ イ ク ソ タ - ビ - ソ ヒ
た た び わ き て ひ か げ く - ら - く あ

1 1 1 0 4 1 1 1 1 1 2 2 2

も ひ な く だ く さ す の み や の こ ろ も に さ
ト ヒ モ ヤ カ ス キ ソ ラ ハ ナ ク テ ア ラ シ ニ ア
ヤ め も わ か ぬ み よ と な リ テ う ら み も ふ

dim. pp rit.

む し み や ま お ろ し み や ま お ろ し
メ ニ ミ ヲ チ バ マ カ ス ミ ヲ チ バ マ カ ス
か き つ ち の む ろ や つ ち の む ろ

護 良 親 王 杉 谷 虎 藏 作 歌

一、 鎌倉山の雲を掃ひ
天つ日あふぐ時は今と
思をくだく座主の宮の
衣にさむし深山おろし
深山おろし

二、 十津川吉野奈良や熊野
ひと日いくさの数はいくそ度ぞ
あらしに雨に身をば任す
身をば任す

三、 晴るゝと見えし山の雲は
あやめ再び湧きて日かけらく
恨も分かぬ御代となりて
恨も深き土のむろや

月下懷郷

Deutsches Volkslied.

♩ = 80.

てコはテウ
らヒリヲチ
すシのスツ
かヤテカレ
ツフヤツナ
キルすキキ
カサメカフ
ゲトてゲレ
サオオチカ
んモナチリ
こヘジマコ
イイツツワ
クバキスそ
チマキカた
のモにチレ

みヒソクヤ
シミユハ
レノハガカ
ガハレシ
ナハナキ
ノキルキエ
グシタナ
ミサイサと
シヤオチカ
ルヨムムエ
ククシシ
チビニマ
オヒオミヤ
リニヤバの
よカミヘ
ジスのモツ
ふカコイ

をノとトメ
とタレコケ
とウアミフ
ルノノダ
ふシクハタ
ガカとマキ
ワムイイツ
グシてノ
トリリニカ
ねムベカ
よホはイ
にニエ
づザバスカ

月下懷郷

下村 茨作歌

- 一、照らすか月影三國一の
富士より落ち来る清水のながれ
清水に米とぐ我がふるさとを
- 二、戀しや故郷思へば今も
かすかにひくくよやさしき母の
御膝に眠りしむかしの歌の
- 三、針の手休めて同じき月に
この身やおほさむ老いたる母は
みそばに侍りて絲くる姉と
- 四、照らすか月影父ます墳を
おもへば身にしむ幼き汝が
行末いかにの今はの御言
- 五、打連れ鳴連れ雁こそ渡れ
いづこの山越え里越え來しか
はや影幽に月たゞ更けぬ

権太

益山鎌吾作曲

♩=120.

mf

一うしほもはー やきちしーまが たす さーぶあー
 二ク ロクモトー ザスキ ターノウ ミ ア ルーヤー
 三あ されど たー えぬう みーの さ ち と れーどつー

f

ら しの た え すーしー て さ く ら ぎ う 系 し しー
 シ ホ デ カ キ ワーケー テ ミ イ ク サ ア ネ ノ ヨー
 キ セ ぬ く が のーとー み を さ め て く に な ひー

p *mp*

まーやまー は よ も ぎ が そ まーと あ れーに け リ さ
 セーツレー バ ア ダ ナ ミ キ エーテ ア トーモ ナ シン イ
 らーかすー ば き たーの か た め な い かーに せ ん あ

mf *f*

か ひ な ゆ づ ら ば こ く る は お ち ん つ る ぎ に ち
 ナ カ ノ ヤ マ ノ ヘ ツ キ カ ガ オ チ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ
 さ ら し あ そ べ る を じ ま の い そ も と な か い ム

ぬ ら ば た み ぐ さ や ま ん か た み に か ら ー る ち
 ラ ナ ミ イ ク ハ ル の の す 系 も あ か さ ひ の み はーた お
 れ る る あ ら の の す 系 も あ か さ ひ の み はーた お

ff *rit.*

か ひーにー て な み か ぜ し ば し な ごーみ け リ
 ヒ カーリー ハーノ ザ ハノ タ ミ モ ア フーグ ナ リ
 したーてー て わ が ひ の も と と ま もーる べ し

樺

太

福井久藏作歌

一、潮もはやき
 すさぶ嵐の
 櫻木うゑし
 蓬が柚と
 境を譲らば
 劍に血塗らば
 かたみに換ふる
 浪風しばし
 黒雲とざす
 荒るゝ八汐路
 みいくさ艦の

千嶋湯
 絶えずして
 嶋山は
 荒れにけり
 國威は落ちん
 民草病まん
 盟に
 なごみけり
 なごみけり
 北の海
 かきわけて
 よせつれば

三

あだ浪きえて
 眞岡の山上
 千歳の浦波
 榮ゆく御代の
 野澤の民も
 あされど絶えぬ
 とれどつさせぬ
 をさめて國を
 北の固を
 海豹あそべる
 馴鹿むれある
 朝日の御旗
 我が日の本と

あともなし
 月影きよく
 いく春かへり
 みひかりは
 仰ぐなり
 海の幸
 陸の富
 ひらかずば
 いかにせん
 小嶋磯も
 荒野の末も
 おしたてゝ
 守るべし

演習

♩=108.

Volkslied.

mf

一 か なたのやまーべま つーばやし か しこのな かーべす
 二 ホ ツツノヒビーキナ リーワタリ ヤ マチカコ ムールク
 三 た がひにきほーま さーかりに ラッ パのねた かーくな

p *mf*

ぎーこだち ちらちらみゆ るも の かげは こ
 ローケムリ コノテキヤブ レシ リソカバ ヲ
 リーひびく ほづつのおと もを さ まれば のみ

cresc.

なたによすーるて きのぐんぜい すすめすすーめい
 がテニキセーンケッーノホマレーススーメスーメイ
 なぎるけむーりあ とともめすーそらはたかーくき

mf

さーすすめ き たらば てきーはみ なーごる し
 ザーすすめ き タラバ テキーハミ ナーゴロ シ
 はーすみ て こ す ゑを わ たーるか ぜーきよ し

演習

吉丸一昌作歌

一、 かなたの山邊松林
 かしこの岡邊杉木立
 ちらちら見ゆるもの影は
 こなたに寄する敵の軍勢

二、 火筒の響鳴り渡り
 山岡こむる黒けむり
 此の敵破れ退かば
 我が手に歸せん今日の譽

三、 たがひにきほふ眞盛に
 ラッパの音高く鳴り響く
 火筒のおともをさまれば
 空は高く氣は澄みて
 木ずゑを渡るかぜきよし

吉田松陰

小山作之助作曲

♩=96.

mp *mf*

一 しか い の かな へ と わ き た つ な か に そ ん
 二 カ コ ク ニ ユ ル シ シ ゴ シ ャ ク ノ ム ク ロ シ セ

f

わ ー じ ゃ ー い の を た け び た か く れ い く わ な て ん
 イ ニ カ ヘ ザ ル コ コ ロ ノ ミ サ チ マ コ ト ニ サ ゴ

cresc.

ぜ し ふ き ー の い さ を へ き れ き く だ け し あ と
 カ × ナ ニ カ ハ アル ト フ ル ヒ シ チ シ ノ ア ト

cresc.

P *ff*

こ そ し の べ あ あ し ょ う い ん た か き そ の な や
 コ ソ シ ノ ベ ア ア シ ョウ イン ナ ガ キ ソ ノ ナ ヤ

吉田松陰

土井林吉作歌

一、四海の鼎と沸き立つなかに

尊王攘夷の雄叫たかく

靈火を點ぜし不朽の功

霹靂碎けし跡こそしのべ

嗚呼松陰高き其の名や

二、家國に許し、五尺のむくろ

死生にかへざる心の操

誠に動かぬ何かはあると

奮ひし雄々しの跡こそ忍べ

嗚呼松陰永き其の名や

里 祭

Schwaebisches Volkslied.

♩=132.

The musical score is written in 3/4 time with a tempo of 132. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The piano part features a steady eighth-note accompaniment in the right hand and chords in the left hand. The score is divided into four systems of music, each with corresponding lyrics in Japanese.

Lyrics for the first system:

一 もりのこかげのぼりみえてけふは
 二 ケッーコソハレトキメーチカザーリツドヒ
 三 はれのーにばのちかーらくーらべうでな
 四 ケッーノマツーリスデーニハテーテク

Lyrics for the second system:

さとのまつりびちりやたらり
 クルーヤチトメゴのサソメキヤ
 みよーとわかえいキラえイヤ
 ソラーノシツケキヤ

Lyrics for the third system:

なるやふえたいこちりやたらり
 サトノタナカミチソメキヤたらり
 すまふーちからごえイヤたらり
 ホシノフタツミツキヤ

Lyrics for the fourth system:

ひびくよ
 ユキカッー
 キそーよ
 ミエソム

里

祭

旗野十一郎作歌

一、森のこかけ幟見えて
 今日（けふ）は里（さと）の祭（まつり）日（ひ）
 ちりやたらり鳴（な）るや笛（ふえ）太（たい）鼓（こ）
 ちりやたらりひやくよ

二、今日（けふ）こそ晴（は）れと衣（ぎ）を飾（か）り
 つどひ來（き）るやをとめご
 ぞめきぞめき里（さと）の田（た）中（なか）道（みち）
 ぞめきぞめき行（ゆ）き交（か）ふ

三、晴（は）れの庭（にわ）の力（ちから）競（こ）
 腕（うで）を見（み）よと若（わか）者（もの）
 えいやえいやすまふ力（ちから）聲（こゑ）
 えいやえいやきそふよ

四、今日（けふ）の祭（まつり）既（すで）にはて、
 暮（く）る、空（そら）の静（しず）けさ
 きらりきらり星（ほし）の二（ふた）つ三（みつ）つ
 きらりきらり見（み）え初（はじ）む

墓 詣

Altddeutsches Volkslied.

♩=100.

1 お く つ き - ち か く ひ と - リ た て
 2 ミ ト し セ ノ - ツ キ ヒ ヨ メ - ト ス ギ
 3 と と ご と - め で て ヲ つ コ レ - ノ マ し
 4 イ ロ カ ノ - キ ヲ キ コ レ - ノ ハ ナ

4 7 7 5 3 3 i 6 5 4 3 4 3 2 3 3

ば み に し み わ た る あ き - の あ - ら し -
 テ コ シ カ ム シ フ タ ヌ ア チ チ - ノ ミ - ハ カ -
 シ シ マ ナ ベ ト ノ リ シ ム カ - シ シ - ノ ア -

墓

詣

小金井君子作歌

- 一、奥津城近く一人立てば
身に去み渡る秋のあらし
- 二、三年の月日夢と過ぎて
苔むし経りぬ父の御墓
- 三、年毎めで、作りまし、
白菊一枝手向けまつる
- 四、色香の清き是の花を
學べとのりしむかし忍ぶ

駢 足

Dessauer Marsch.

♩=132.

Handwritten numbers above the first staff: 2, 5, 2, 1, 2, 5, 2, 7, 2, 5, 4, 5, 6, 7, 5, 7, 6, 7, 5

Handwritten numbers above the second staff: 2, 1, 7, 6, 6, 6, mf, 6, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 7

Handwritten numbers above the third staff: 6, 5, 6, 7, 1, 6, 7, 6, 7, 1, 2, 1, 6, 6, 7, 8, 6, 5

Lyrics:
 一 さむさをいとほすか けあしすれば ちはわき
 二 アツサチコ ラヘテカ ケアシスレ バ スズシサ
 みはあた た か き た か ぜ つ よ く ふ
 ヲ キヨリ オ コ ル ナ ガ ル ル ア セ ハ イ
 ぶきはすれ ど は な ち る は る の こ こ ち し て
 ヅ ミ ト ヲ ケ ド シ ミ ツ チ ア ミ シ コ コ チ シ テ

駢 足

渡邊盛衛作歌

一、寒さをいとほす駢足すれば

血は湧き身は温か

北風強く吹雪はすれど

花散る春のこゝちして

二、暑さをこらへて駢足すれば

涼しさ腋より起る

流るゝ汗は泉と湧けど

清水を浴みし心地して

氷 滑

♩ = 138.

Volkstied.

First system of musical notation for '氷 滑'. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The vocal line has lyrics: 一 うれし は だへさむき き た の か ぜ の よ す が ら ふ
二 ウレシ ソ ラ ハハレテ ア サ の タ カ ク カ ハー は カ
三 ウレシ ふ ヲ ヲ コロ ア シ モ カ ロ ク ヲ シ ル ヒ
四 ウレシ コ コ ロ ナ リ ア シ モ カ ロ ク ヲ シ ル ヒ
五 うれし ほ ね は なりて に く は を ど を わ か

Second system of musical notation for '氷 滑'. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The vocal line has lyrics: き て け さ は か は の も み よ や こ ほ り と ち わ
ミ ノ オ モ ハ カ ガ ヤ キ マ ツ カ ア ソ リ ア コ ラ ナ
も す か は ハ の と と ヤ ニ マ ツ カ ア ソ リ ア コ ラ ナ
ラ ハ の わ く を お ぼ え て た の し こ ほ り す べ り

氷

滑

乙骨三郎作歌

一、うれし 膚さむき北の風の
夜すがら吹きて今朝は川の面
見よやこほりとぢぬ

二、うれし 空は晴れて朝日高く
川の鏡のおもはかやき
待つかあそぶ子等を

三、うれし 冬を愛るわかき友よ
今日はひねもす川のほとりに
なれとあそび暮さん

四、うれし 心かろく足もかろく
走る我等は空を飛び交ふ
とりの羽や得たる

五、うれし 骨は鳴りて肉は躍り
わかき力の湧くを覚えて
たのしこほりすべり

世の態

Bohmisches Volkslied.

♩=100.

P

一 { あい そと ぶ う な の か す み え
二 { ト エ リ ノ ノ た る る あ す や き
 { エ リ メ ノ コ ヲ エ イ モ キ ノ ナ ダ ナ ニ コ

P

{ ① 一 ひ ば め る み ぶ の も
す が リ キ タ カ シ ヲ ナ ル ヌ シ ハ ソ ナ カ サ マチ
{ ユ

mf

あ ら し お こ り な み た ち
チ チ ハ ヲ キ テ ハ ハ ヤ ミ

rit.

か は る け し き す ご し や
カ ハ ル サ ダ メ ア ハ レ ヤ

meno mosso.

P

か く ぞ と は に う つ り て
カ ク ソ ト ハ ニ ウ ツ リ テ

pp

き は み な し や よ の さ ま
キ ハ ミ ナ シ ヤ ヨ ノ サ マ

世の態

小野竹三作歌

一、遊ぶ魚の數見え

夕日映ゆる水の面

絲を垂るゝ青柳

姿うつす静けさ

嵐おこり波たち

變るけしき凄しや

斯くぞとはに移りて

きはみなしや世の態

二、鳥の聲も長閑に

搖籃かをる花かけ

夢やうまき幼兒

憂を知らぬ其の幸

父は逝きて母病み

變るさだめ哀れや

斯くぞとはに移りて

きはみなしや世の態

千代田の宮

上 眞行作曲

$\text{♩} = 80.$

mp *mf*

かハハコ けルの コ まバみヘ ーくやハ ーもトぬノ ーかヒみオ ーしがそク ーこしらニ ーきニハ ーきヒツタ ーみ口かケ ーのキすノ ーおほマヒミ ーつからッ ーみバラッ ーやらす ーどシてヒ ーこバラロ ーるフサグ

f

ちナワマ ーよカがス ーだナシミ ーとルみノ ーおミイカ ーへチたガ ーるニクミ ーめシおカ ーでキコケ ーたタリタ ーキルをル ーなマにゴ ーにサクト ーもゴみク ーさチカミ ーかりざコ ーえダリコ ーぞニをロ ーシミとア ーるエカ ーキズめキ

trquillo. *p*

まハガにル ーうキタツ ーしミタキ ーろノをノ ーしツツキ ーぶツツキ ーかクラノ ーなシハミ ーるキヤ ーみコヒマ ーぶトとチ ーみオツモ ーどモクナ ーリホラカ ーにスセニ ーたタマナ ーたミシシ ーへハシテ

mp

めナみツ ーぐリコラ ーリハコツ ーにヒろカ ーはノぞク ーとイコサ ーしトがカ ーヘマねエ ーたアまホ ーるルリヒ ーま下てタ ーつきリチ ーシミたヒ ーげヤまロ ーリコまガ ーてニリリ ーたイなミ ーちデほチ ーそキヒタ ーびタマ ーゆりる

mp *mf* *p* *f*

コソみミ ーこデめタ ーのツぐミ ーヘラみワ ーにネにレ ーつモセイ ーラスヒカ ーなリたナ ーリチるル ーわヒみサ ーたキイチ ーるテツツ ーふコくコ ーたコもノ ーヘニぬヨ ーのゾをニ ーみツツア ーはドッキ ーしーテル ーあミとア ーふヨツア ーぐソクツ ーなセにレ ーリチのシ

trquillo. *p*

まムはツ ーおネてレ ーリニのラ ーまエはミ ーかがてタ ーぶキまミ ーるテでヨ ーもチあミ ーもがふタ ーのムギミ ーつタたツ ーかメレ ーさニトラ ーはトむヨ

千代田の宮

阪正臣作歌

一
 掛けまくもかしこき君の大宮どころ
 千代田とおへるめでたき名にも榮えぞしるき
 まへうしろ静かなる水みどりにたへ
 めぐりには年経たる松繁りて立ち聳ゆ
 こゝのへにつらなり渡る二重の御橋
 仰くなり参りまかづる百のつかさは

二

はるばるとひがしにひろき松原芝生
 中なるみちに敷きたる眞砂子ちりだに見えず
 吾が君のうつくしき子とおもほす民は
 なりはひの暇ある時都に出で來たり
 袖つらね裳すそ曳きて茲にぞつどふ
 みよそひを胸に畫きてをがむ爲にと

三
 此の宮居み空をつかず光らず照らず
 吾が君いたくおごりをにくみかざりとめ
 國民をわづらはさじとつくらせまし
 御心ぞ黄金より照り玉よりなほひかる
 御恵みに添ひたる稜威雲居を衝きて
 外國のはてのはてまで仰ぎたふとむ

四

九重のおくには竹の御園生ひろく
 ますみのかみ掛けたるごとくみこゝろあかき
 照るつきの秋のみ山をもなかになして
 うら若く榮え生ひ立ち廣がり満ち給ふ
 御民我いかなる幸ぞ此世にあへる
 嗚呼嬉し我等御民よ御民我よ



不許複製

明治四十二年五月廿八日印刷

明治四十二年五月卅一日發行

(定價金四拾五錢)

編 纂 者	發 行 者	代 表 者	印 刷 者	印 刷 所	發 行 所
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

東京音樂學校

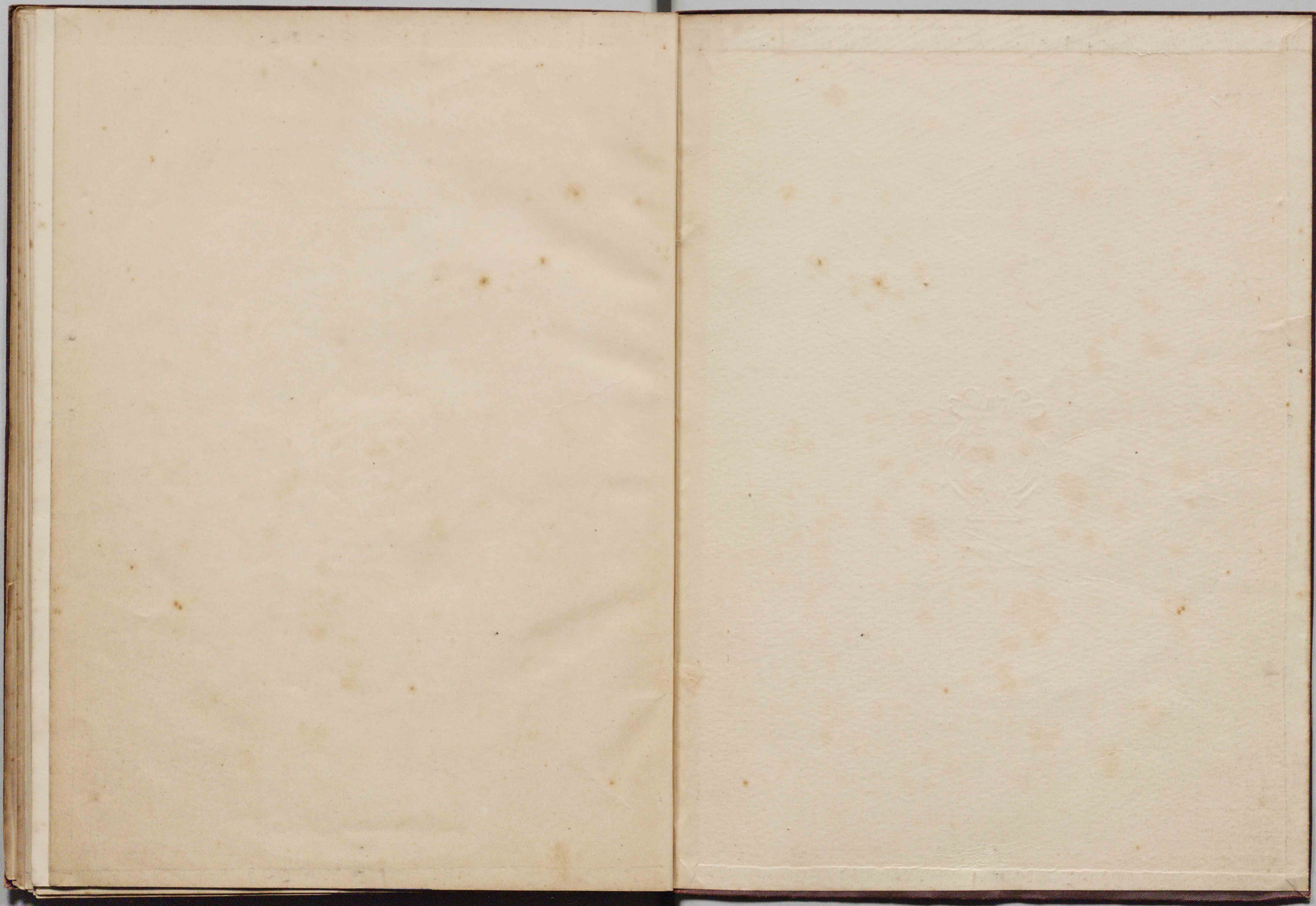
合資社 共益商社樂器店
東京市京橋區竹川町十三番地

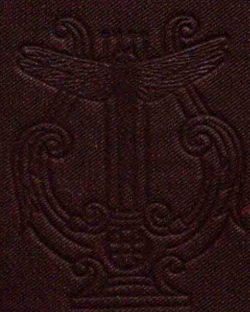
白井直
東京市京橋區竹川町十三番地

野村宗十郎
東京市京橋區築地三丁目十一番地

株式會社 東京樂地活版製造所
東京市京橋區築地二丁目十七番地

合資社 共益商社樂器店
東京市京橋區竹川町十三番地





教科
40
013